

# タキストロン施工方法

ブルサイド用

MX・MT・ST

※プラスケアMJは別紙参照



下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。  
**使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと**



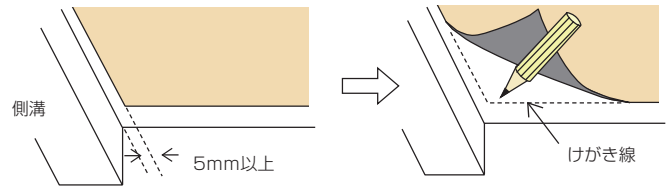
- 注意**
- 水中には施工できません。
  - 伸縮目地に施工すると伸縮目地で膨れや亀裂が生じることがありますので、目地手前で床材を仕上げて目地を露出させてください。
  - 屋内ブルサイドの場合は継目止水工法を推奨いたします。

## 1. 下地・使用環境の確認

- 下地の清掃を行い、砂・塵埃などを除去してください。
- 下地の表面が平滑で十分な強度があること、塗料や油分などの汚れが残っていないことを確認してください。
- 下地に湿気がある場合は十分に乾燥するまで養生してください。(必要に応じて下地の水分率を確認してください。)
- **施工開始から養生終了までの間に5℃以下(気温・下地)になる場合や、急激な温度変化や水濡れがある場合は施工できません。**

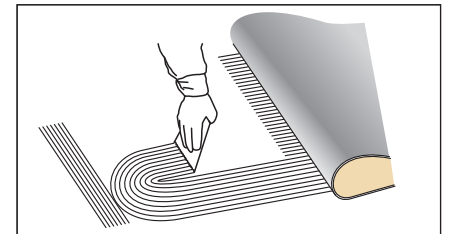
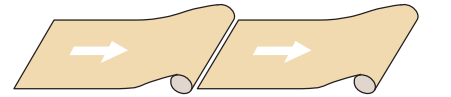
## 2. 割り付け

- できるだけ継目部を少なく、端部に小さなシートが入らないように割り付けてください。
- 端部は端部処理材の仕上げ代として側溝端部から5mm以上、壁際は3mm程度の隙間を空けてください。
- 接着剤を端部まで塗布するため、シート端部の位置を下地に鉛筆などでけがいてください。



## 3. 仮敷き

- 張り付け基準線に沿って、仮敷きを行ってください。
- **シートには方向性があります。同一方向になるように施工してください。**
- 巻きグセを取り、シワが生じないように敷き延ばしてください。
- 柄模様のあるシートは、できるだけ柄合わせを行いながら、シートを敷いてください。
- 二枚のシートの継目部は突き付けとし、隙間が生じないように注意してください。
- 継目は柄模様の目地で行うのが基本です。



## 4. 接着剤の塗布準備

- 下地に接着剤を塗布するため、タキストロンの半分(幅方向)をすれないように折り返してください。

## 5. 接着剤の塗布

- エポキシ系接着剤の場合、接着剤は下地上での混合は行わないで別容器で十分に攪拌してください。  
(下地上で混合すると混合不良となり後日のフクレ・接着不良の原因となります。)
- 下地に塗布ムラが生じないように均一に塗布してください。

|       |                                        |
|-------|----------------------------------------|
| 標準塗布量 | モルタル下地:300~400g/㎡<br>非吸水性下地:250~350g/㎡ |
|-------|----------------------------------------|

- クシ山が1/3以上摩耗した場合、三角ヤスリで目立てを行ってください。

## 6. オープンタイム

- 接着剤を塗布した後オープンタイムを取り、張り付け可能時間内にシートを張り付けてください。
- オープンタイムが短いとガス膨れが生じます。
- **オープンタイムを取り過ぎて接着剤が乾きすぎると接着力が低下します。**

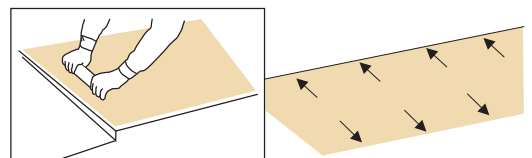
オープンタイムの目安(20℃)

| 接着剤       | オープンタイム | 張り付け可能時間 |
|-----------|---------|----------|
| タキボンド#607 | 20~30分  | 40~50分   |
| タキボンド#701 | 30~40分  | 50~70分   |
| タキボンド#601 | 30~40分  | 60~70分   |

※5℃以下(気温・下地)では使用しないでください。(硬化反応が進みません)

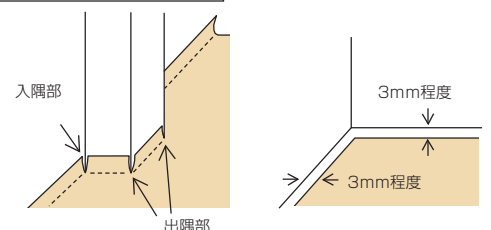
## 7. 張り付け・エア抜き

- シートにシワを生じさせないように、中央部から幅方向に丁寧にシートを張り付けてください。
- シート張り付け後、しごき圧着でエア抜きを十分に行った後、床ローラーや、しごき棒などで圧着してください。



## 8. 壁際の裁断

- 壁際は3mm程度の隙間が空くように裁断してください。
- 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷を付けないように注意してください。



## 9. 圧着

- 壁際及び継目部をハンドローラーやコーナーローラーで十分に圧着してください。

試験データ  
P.196

法規関連  
P.218

工法・下地  
P.229

施工手順  
P.247

接着剤・  
副資材  
P.314

副資材  
品番一覧  
P.328

メンテナンス  
注意  
P.333

## 10. 養生(1～2日)

- 接着剤が硬化するまで1～2日養生させてから、次工程の処理を行ってください。
- 接着剤が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- 接着剤が硬化するまで、重量物の運搬やカスター椅子などによる「しごき」を避けてください。

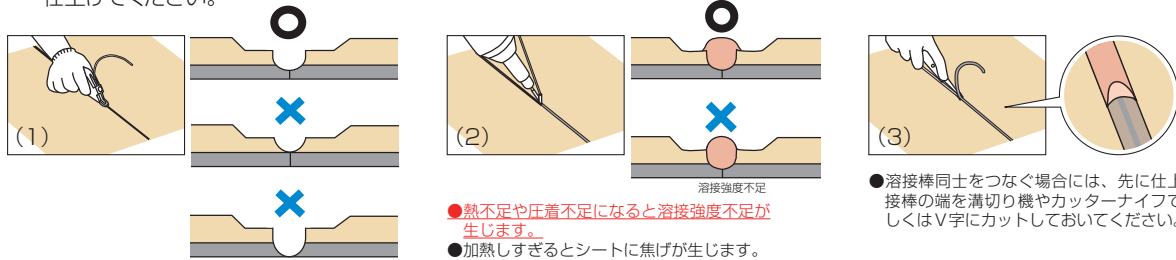
## 11. 継目処理

### 溶接工法

- (1) 接着剤が完全に硬化してから溝切り機\*等でシート厚みの2/3程度の深さでU字溝を設けてください。 ※推奨:「ユーキリ・スーパ」φ2.5mm
- (2) 熱風溶接機(ライスター)でタキストロン床溶接棒を溶融させながら溶接ビードができる程度に溶接してください。
- (3) タキストロン床溶接棒が冷えてから余盛部を溶接棒トリマー等で平滑に仕上げてください。

溶接条件の目安

| 設定   | アナログ   | 6～7      |
|------|--------|----------|
|      | デジタル   | 400～500℃ |
| スピード | 1～2m/分 |          |



### シール工法

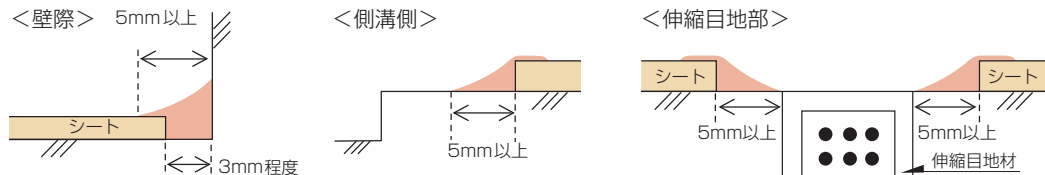
養生が可能な場合は、12. 端部処理と同様の手順でシールを使用することも可能です。但し、以下につきまして十分に注意してください。

※ 養生期間を2～3日間設けてください。

※ シールの仕上がり面は、硬化後多少の痩せが生じます。

## 12. 端部処理

- (1) 仕上がりを美しくするためにマスキングテープで養生してください。
- (2) 気泡を巻き込まないようにシート端部及び壁際に塗布してください。
- (3) 充填後直ちに仕上げ用ヘラで平滑に仕上げてください。
- (4) ヘラ仕上げ後直ちにマスキングテープを除去してください。

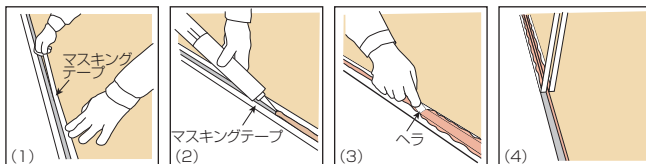


※ 伸縮目地がある場合は目地手前で端部処理を仕上げ、目地を露出させてください。(伸縮目地上にシールを打設すると、シールにひび割れが発生する恐れがあります。)

※ シールの仕上がり面は、硬化後多少の痩せが生じます。

※ 施工時や養生中に湿度の高い場合や、結露、水滴などにより、シール表面の光沢に差が生じることがありますが、端部処理としての機能に問題はありません。施工日が異なる場合は打継ぎ箇所を目立たない所にするなどご注意ください。

※ エポシールは主剤、硬化剤、カラーマスターの混合が必要です。同梱の取扱説明書を参照してください。



端部処理材の標準使用量

| シート厚さ | エポシール         |
|-------|---------------|
| 3mm未満 | 60m/2kgセット    |
| 3～4mm | 40～48m/2kgセット |

## 13. 清掃

- シート残材・接着剤容器・梱包紙等を片付けてください。
- カッターナイフの折れ刃の回収を徹底してください。

## 14. 養生(2～3日)

- シール材が硬化するまで、2～3日養生させてください。
- シール材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- シール材が硬化するまで、触ったり踏んだりしないようにしてください。(継目にシール材を使用する場合は特にご注意ください。)
- 養生中は土足での歩行を控え、汚さないようにしてください。(必要に応じて養生シートなどをご使用ください。)
- 屋内で使用する場合は換気を行い、引き渡しまでに数日間を設ける等の配慮をしてください。
- 重量物の運搬などは、接着剤やシール材が硬化した後、ベニヤ板などを敷いて車輪の跡形や傷を付けないように行ってください。

試験データ  
P.196

法規関連  
P.218

工法・下地  
P.229

施工手順  
P.247

接着剤・  
副資材  
P.314

副資材  
品番一覧  
P.328

メンテナンス  
注意  
P.333



# プールサイドの改修について

滑りやすさなど「安全面に不安があるプールサイドの床面」について、「長期休業による工事が必要になるため、改修が出来ずにいる」といったケースはございませんか？



すべりやすい

## タキストロンなら

### 工期短縮 コストカット



約1週間

転倒によるケガが  
少なくなりそうですね！



### 安全・快適

- 防滑性
- 防カビ性
- 衝撃吸収性（MJ）
- 抗菌性（ST）
- 継目止水（MJ以外）

詳しくはこちら

## タキストロン短工期工法

※既存下地の状況により、部分的に下地タイルの撤去が必要な場合があります。

水性エポキシポリマーセメントモルタル「スカイレジンエポフィラー（大日化成㈱製）」による下地調整により、**既存のタイル下地をはがすことなくタキストロンを施工できます**

タイル剥がし工事の場合は約1ヶ月



### 工期短縮 コストカット



約1週間

工程スケジュールの目安

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 1日目 | 下地洗浄               |
| 2日目 | スカイレジンエポフィラー（2度塗り） |
| 3日目 | 養生日                |
| 4日目 | シート張り付け            |
| 5日目 | 溶接・端部シール           |
| 6日目 | 養生日                |
| 7日目 | 養生日                |



下地洗浄



スカイレジンエポフィラー施工



タキストロン施工



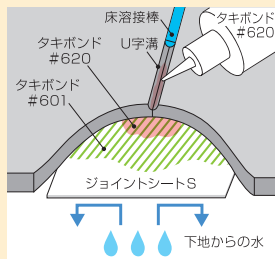
※上記はあくまでモデルケースであり現場の施工環境や下地の状況及び作業員の人数によって必要施工日数は変わります。

## タキストロン継目止水工法

※プラスケアMJは継目止水工法はできません

**経年劣化によるシート継目（溶接部）からの水の染み出しを防ぎます**

シート継目裏面と『ジョイントシートS』を接着・溶着することで、下地からの水を止水。



- 品名：シート継目止水部材「ジョイントシートS」
- 寸法：幅50mm×長さ25m巻・厚さ0.3mm

| 価格<br>(材料価格・税別) | 1巻     | 1m   |
|-----------------|--------|------|
|                 | 5,000円 | 200円 |

- 受注条件：1巻以上
- ※表示価格には、消費税・施工費は含まれておりません。
- ※ジョイントシートSはタキストロンとのセット販売とさせていただきます。

**セット販売品**



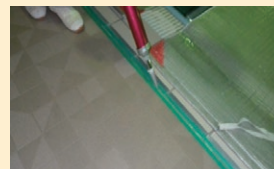
ジョイントシート施工



シーム液充填



継目圧着



溶接

試験データ  
P.196

法規関連  
P.218

工法・下地  
P.229

施工手順  
P.247

接着剤・  
副資材  
P.314

副資材  
品番一覧  
P.328

メンテナンス  
注意  
P.333